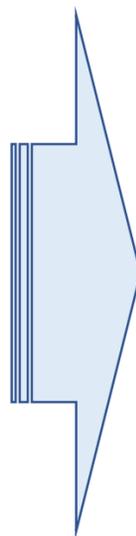


## 令和6年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針等

施設名：山田池公園

評価項目	評価基準	評価	評価委員の指摘・提言等
I 提案の履行状況に関する項目 (4)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	特殊庭園について、良好な管理を行ったか	C	<p>■施設所管課の評価 令和5年度開園時点で生育不良を認識していながら夏～冬にかけて施肥や土壌改良等による対応が十分でなかったため、著しい生育不良を招き、病気の発生に至った。その結果、令和6年度の花しょうぶ園は全く鑑賞できない状態となり、その後は令和7年度の開花にむけて一定の対策に取り組んでいるものの、それまでの過程や結果については厳しく評価せざるを得ない。</p> <p>■評価委員会の評価 施設所管課評価は適正である。 令和5年度の開花状況を踏まえた対応が不十分であり、結果として令和6年度は全く鑑賞できない状況に至ったことは、対応に課題があったと考えられる。さらなる適切な取り組み・対応が不可欠であり、現在の取り組みが次年度以降の良好な開花につながることを期待したい。</p>



改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
<p>専門機関による調査の結果、リゾクトニア菌による紋枯れ病と土壌の肥料分不足が判明したため、花しょうぶの株を丈夫にするとともに病原菌に負けない土壌にすることで改善を図ります。</p> <p>具体的には、これまでから提案していた3年に1度の植替え時に土壌の消毒、牛ふん堆肥・浄水発生土等の投入及び耕耘を行うことにより排水・透水性を改善します。</p> <p>また、これまでから使用していた殺菌剤に加え、紋枯れ病に効果的な殺菌剤を新たに散布します。</p> <p>加えて、追肥や土壌菌活性剤の投入により土壌の地力を増進します。</p> <p>その他、衰弱の激しい品種を鉢植えで丁寧に育成する他、雑草の発生抑制のための種子発芽阻害剤の使用や、冬期の枯葉焼きを行います。</p>	<p>10.特殊庭園の運営・維持管理計画 1.水生花園(花しょうぶ園) (2)今年度の運営・維持管理方針 ・土壌の肥料分不足への対策として通常使用している肥料に加え、各種養分を補う肥料を追肥として用いながら生育改善を図ります。肥料は土壌環境の分析結果や株の生育に応じて使用する資材を変えながら、生育改善を図ります。</p> <p>(3)具体的運営・維持管理計画 ②作業手順 ○病虫害防除 ・昨年度発生したリゾクトニア菌が今年度も蔓延しないように、芽出し期及び初秋の除草後に殺菌剤を散布し、発病抑制に徹します。 ○植替え ・古株掘り上げ、土壌の天地返し、土壌消毒、pH調整を含めた土壌改良を行います。新たな用土には排水・透水性を改善できる資材(牛ふん堆肥や浄水発生土)を使用します。</p>